

S&P500月例レポートでは、S&P500の値動きから米国マーケットの動向を解説します。市場全体のトレンドだけではなく、業種、さらには個別銘柄レベルでの分析を行い、米国マーケットの現状を掘り下げて説明します。

S&Pダウ・ジョーンズが提供する指数に関する詳細はこちらをご覧ください。

(日本語サイト)

<https://www.spglobal.com/spdji/jp/>

S&P 500 月例レポート
執筆者



ハワード・シルバブラット
S&P ダウ・ジョーンズ・
インデックス
シニア・インデックス・アナリスト
howard.silverblatt@spdji.com

S&P 500[®] 月例レポート (2024年9月配信)

THE S&P 500 MARKET: 2024年8月

個人的見解: ボラティリティ、不確実性、動揺はあったが、最終的に上昇

インデックスの動き

8月の株式市場は7月のボラティリティ、不確実性、動揺が続きましたが、最終的にS&P500指数は2.28%上昇して5,648.40で月を終えました。配当込みのトータルリターンはプラス2.43%でした(7月は1.13%上昇とプラス1.22%)。8月に最高値更新はなく(7月は7回)、2024年7月16日に付けた終値での過去最高値(5,667.20)からわずかに0.33%安の水準で月末を迎えました。年初来では18.42%上昇(トータルリターンはプラス19.53%)となりました。マグニフィセントセブン銘柄は、8月もグループとして大きな存在感を示しましたが、指数全体のリターンにおける影響力は低下し(少なくとも8月は)、グループ全体ではS&P500指数の月間トータルリターンを0.75%押し下げました。セクター別では、消費関連セクターに顕著な動きが見られ、支出とインフレに対する懸念から一般消費財が1.08%下落(年初来では5.79%上昇)した一方で、生活必需品は5.78%上昇(同15.78%上昇)し、セクター別で最高のパフォーマンスとなりました。月間の下落幅が最大だったのはエネルギーで、8月は2.32%下落(同8.72%上昇)しました。ガソリン価格の下落が続いていることが要因ですが、これはドライブが多くなる夏にしては珍しい現象です。

過去3カ月間の騰落率は7.03%上昇となりました(トータルリターンはプラス7.39%)。年初来では18.42%上昇となり(同プラス19.53%)、年率換算すると28.66%上昇(同プラス30.46%)に相当します。過去1年間では25.31%上昇となっています(同プラス27.14%)。

8月は値上がり銘柄数が355銘柄、値下がり銘柄数が148銘柄となり、差は縮小したものの、依然として値上がり銘柄が圧倒

的に多くなっています（7月は値上がり銘柄数が364銘柄に対し、値下がり銘柄数は139銘柄）。8月は22営業日のうち13営業日で上昇し（7月は22営業日のうち14営業日で上昇。年初来では168営業日のうち95営業日で上昇）、9営業日で1%以上変動しました（上昇が6日、下落が3日）。11セクターのうち9セクターが上昇しました（7月は9セクターが上昇）。出来高は前月比1%増（営業日数調整後）、前年同月比では2%減となりました。

S&P500 指数の時価総額は8月に1兆590億ドル増加（7月は5,360億ドル増加）して、47兆4,480億ドルとなりました。年初来では7兆4,000億ドル増加しました。2023年は7兆9,060億ドルの増加、2022年は8兆2,240億ドルの減少でした。

- **ダウ・ジョーンズ工業株価平均（ダウ平均）**は8月に4回最高値を更新しました（年初来では26回。終値での最高値は41,563.08ドル、取引時間中の最高値は41,585.21ドル）。7月の最高値更新は3回でした。同指数は8月に1.76%上昇して（配当込みのトータルリターンはプラス2.03%）、41,563.08ドルで月を終えました。7月は4.41%上昇して（同プラス4.51%）で40,842.79ドル、6月は1.12%上昇して（同プラス1.23%）39,118.86ドルで月を終えました。ダウ平均は過去最高値を更新して8月を終えています。過去3カ月間の騰落率は7.44%上昇（同プラス7.95%）、年初来では10.28%上昇（同プラス11.75%）、過去1年間では19.70%上昇（同プラス22.06%）となっています。2023年は13.70%の上昇（同プラス16.18%）、2022年は8.78%の下落（同マイナス6.86%）でした。
- **8月の日中ボラティリティ**（日中の値幅を安値で除して算出）は、1.32%（2023年3月の1.51%以来の水準）と7月の0.95%から上昇し、年初来では0.91%となっています。なお、2023年通年は1.04%、2022年は1.83%、2021年は0.97%、2020年は1.51%でした（長期平均は1.42%）。
- **8月の出来高**は、7月の前月比9%減少の後に、同1%増加し（営業日数調整後）、前年同月比では2%減少となりました。2024年8月までの12カ月間では前年同期比8%減少しています。2023年通年では前年比1%減で、2022年通年では同6%増でした。
- **8月**は1%以上変動した日数は22営業日中9日（上昇が6日、下落が3日）、2%以上変動した日数は2日（上昇が1日、下落が1日）でした。7月は1%以上変動した日数は22営業日中6日（上昇が4日、下落が2日）、2%以上変動した日数は1日（下落）でした。年初来では、1%以上変動した日数は36日（上昇が24日、下落が12日）で、2%以上変動した日数は4日（上昇が2日、下落が2日）でした。2023年通年は、1%以上変動した日数が250営業日中63日（上昇が37日、

下落が 26 日)、2%以上変動した日数が 2 日(上昇が 1 日、下落が 1 日)でした。8 月は 22 営業日中 14 日で日中の変動率が 1%以上となり、4 日で日中の変動率が 2%以上となりました。対して 7 月は 1%以上の変動が 22 営業日中 9 日で、2%以上変動した日はありませんでした。年初来では、56 日で日中の変動率が 1%以上となり、2%以上変動した日数は 6 日ありました。2023 年通年では 1%以上の変動が 113 日、2%以上の変動が 13 日で、3%以上の変動はありませんでした(直近で 3%以上の変動があったのは 2022 年 11 月 30 日)。2022 年は 1%以上の変動が 219 日、2%以上の変動が 89 日、3%以上の変動が 20 日でした(4%以上の変動が 4 日、5%以上の変動が 1 日)。

過去の実績を見ると、8 月は 58.3%の確率で上昇し、上昇した月の平均上昇率は 3.89%、下落した月の平均下落率は 3.90%、全体の平均騰落率は 0.64%の上昇となっています。2024 年 8 月の S&P500 指数は 2.28%の上昇でした。

9 月は 43.8%の確率で上昇し、上昇した月の平均上昇率は 4.09%、下落した月の平均下落率は 4.70%、全体の平均騰落率は 1.16%の下落(1 年で最もパフォーマンスの悪い月)となっています。

今後の米連邦公開市場委員会 FOMC のスケジュールは、2024 年は 9 月 17 日-18 日、11 月 6 日-7 日、12 月 17 日-18 日、2025 年は 1 月 28 日-29 日、3 月 18 日-19 日、5 月 6 日-7 日、6 月 17 日-18 日、7 月 29 日-30 日、9 月 16 日-17 日、10 月 28 日-29 日、12 月 9 日-10 日となっています。

● 主なポイント

- 8 月の市場は 2.28%上昇(配当込みのトータルリターンはプラス 2.43%)となりました。7 月は辛うじて上昇したものの上値が重く(1.13%上昇、同プラス 1.22%)、6 月(3.47%上昇、同プラス 3.59%)と 5 月(4.80%上昇、同プラス 4.96%)の力強い上昇基調から減速していました。過去 3 カ月では 7.03%上昇(同プラス 7.39%)となりました。また、年初来では 18.42%上昇(同プラス 19.53%)となり、年率換算すると 28.66%上昇(同プラス 30.46%)に相当します。過去 1 年間では 25.31%上昇(同プラス 27.14%)となっています。
 - マグニフィセントセブン銘柄は引き続きグループとしては大きな存在感を示していますが、8 月にグループとしての株価は下落し、S&P500 指数のトータルリターンを 0.75%押し下げました。これら 7 銘柄の S&P500 指数の年初来上昇率に占める割合は 44.7%となっています。8 月は、7 銘柄の株価が平均 0.88%下落したのに対し、指数構成銘柄の平均騰落率は 2.31%上昇となりました。

○ 8月の主なデータ

- S&P500 指数は 8 月も変動の激しい展開となりましたが、最終的には上昇して月を終えました (2.28%上昇)。7 月は 1.13%上昇、6 月は 3.47%上昇でした。8 月は 22 営業日のうち 13 営業日で上昇しました (7 月は 22 営業日のうち 14 営業日で上昇)。また、値上がり銘柄数が 355 銘柄、値下がり銘柄数が 148 銘柄となり、差が縮小したものの、依然として値上がり銘柄が圧倒的に多くなっています (7 月は値上がり銘柄数が 364 銘柄、値下がり銘柄数は 139 銘柄でした)。8 月の出来高は前月比 1%増、前年同月比では 2%減となりました。
 - ✓ 8 月は 11 セクターのうち 9 セクターが上昇しました。7 月は 9 セクターが上昇、6 月は 5 セクターが上昇しました。8 月のパフォーマンスが最高となったのは生活必需品で、5.78%上昇しました (年初来では 15.78%上昇、2021 年末比では 9.69%上昇)。パフォーマンスが最低だったのはエネルギーで、2.32%下落しました (同 8.72%上昇、同 64.61%上昇)。
 - S&P500 指数は 8 月に 2.28%上昇して、5,648.40 で月を終えました (配当込みのトータルリターンはプラス 2.43%)。7 月は 1.13%上昇 (同プラス 1.22%) して 5,522.30、6 月は 3.47%上昇 (同プラス 3.59%) して 5,460.48 で月を終えました。過去 3 カ月間では 7.03%上昇 (同プラス 7.39%)、年初来では 18.42%上昇 (同プラス 19.53%)、過去 1 年間では 25.31%上昇 (同プラス 27.14%) となりました。2023 年通年は 24.23%上昇 (同プラス 26.29%)、2022 年通年は 19.44%下落 (同マイナス 18.11%) でした。
 - ✓ S&P500 指数は 8 月に終値での最高値更新はなく、2024 年 7 月 16 日に付けた終値での過去最高値から 0.33%安の水準で月末を迎えました。7 月は 7 回、6 月は 7 回 (5 月は 2 回、4 月は 0 回、3 月は 8 回、2 月は 8 回、1 月は 6 回) でした。年初来での最高値更新回数は 38 回となっています。2023 年の最高値更新回数は 0 回、2022 年は 1 回、2021 年は 70 回でした (過去最高は 1995 年の 77 回)。
 - ✓ コロナ危機前の 2020 年 2 月 19 日の高値からは 66.81%上昇 (同プラス 79.26%) となっています。
- 米国 10 年国債利回りは 7 月末の 4.04%から 3.91%に低下して月を終えました (2023 年末は 3.88%、2022 年末も 3.88%、2021 年末は 1.51%、2020 年末は 0.92%、2019 年末は 1.92%、2018 年末は 2.69%、2017 年末は 2.41%)。30 年国債利回りは 7 月末の 4.31%から 4.20%に低下して取引を終えました (同 4.04%、同 3.97%、同 1.91%、同 1.65%、同 2.30%、同 3.02%、同 3.05%)。
 - 英ポンドは 7 月末の 1 ポンド=1.2859 ドルから 1.3131 ドルに上昇し (同 1.2742 ドル、同 1.2099 ドル、同 1.3525 ドル、同 1.3673 ドル、同 1.3253 ドル、同

- 1.2754 ドル、同 1.3498 ドル)、ユーロは7月末の1ユーロ=1.0824 ドルから1.1050 ドルに上昇しました(同 1.0838 ドル、同 1.0703 ドル、同 1.1379 ドル、同 1.2182 ドル、同 1.1172 ドル、同 1.1461 ドル、同 1.2000 ドル)。円(対米ドル)は7月末の1ドル=150.00 円から146.14 円に上昇し(同 141.02 円、同 132.21 円、同 115.08 円、同 103.24 円、同 108.76 円、同 109.58 円、同 112.68 円)、人民元は7月末の1ドル=7.2193 元から7.0930 元に上昇しました(同 7.1132 元、同 6.9683 元、同 6.3599 元、同 6.6994 元、同 6.9633 元、同 6.8785 元、同 6.5030 元)。
- 8月末の原油価格は6.3%下落し、7月末の1バレル=78.49 ドルから同 73.58 ドルとなりました(2023年末は同 71.31 ドル、2022年末は同 80.45 ドル)。米国のガソリン価格(EIAによる全等級)は8月に4.6%下落しました(現在1ガロン=3.433 ドル、7月末は3.598 ドル、2023年末は同 3.238 ドル、2022年末は同 3.203 ドル、2021年末は同 3.375 ドル)。2020年末から原油価格は52.0%上昇し(2020年末は1バレル=48.42 ドル)、ガソリン価格は47.3%上昇しました(2020年末は1ガロン=2.330 ドル)。
 - 2024年7月時点のEIAの報告によると、ガソリン価格の内訳は、56%が原油、16%が販売・マーケティング費、13%が精製コスト、15%が税金となっています。
 - 金価格は7月末の1トロイオンス=2,492.20 ドルから上昇し、2,535.40 ドルで8月の取引を終えました(2023年末は2,073.60 ドル、2022年末は1,829.80 ドル、2021年末は1,901.60 ドル、2020年末は1,520.00 ドル、2019年末は1,284.70 ドル、2018年末は1,305.00 ドル)。
 - VIX 恐怖指数は7月末の16.36 から15.00 に低下して8月を終えました。月中の最高は65.73、最低は14.46 でした(2022年末は21.67、2021年末は17.22、2020年末は22.75、2019年末は13.78、2018年末は16.12)。
 - 同指数の2023年の最高は30.81、最低は11.81 でした。
 - 同指数の2022年の最高は38.89、最低は16.34 でした。
 - 同指数の2021年の最高は37.51、最低は14.10 でした。
 - 同指数の2020年の最高は85.47、最低は11.75 でした。
 - 目標株価は引き続き上昇しています。S&P500 指数に対する市場関係者の1年後の目標株価は2023年12月末時点から9カ月連続で上昇し、現在値から10.4%上昇の6,238 となっています(7月末時点では10.8%上昇の6,119、6月末時点では5,972)。それ以前の目標値は、9カ月連続の低下から11カ月連続の上昇を経て、2023年11月まで2カ月連続で低下していました。ダウ平均の目標株価も3カ月連続の上昇から2カ月連続の低下を経て、8月まで9カ月連続で上昇し、現在値から6.5%上昇の44,282 ドルとなっています(7月末時点では8.0%上昇の44,097 ドル、6月末時点では43,158 ドル)。

● 米国経済

- 7月の製造業購買担当者景気指数（PMI）は事前予想の49.5を上回る49.6となりましたが、6月の51.6から低下しました。
- 7月のISM製造業景気指数は46.8に低下しました。事前予想は6月の48.5を上回る48.8でした。
- 7月のサービス業PMI確報値は55.0となりました。事前予想は56.0でした（速報値は56.0）。
- 7月のISM非製造業景気指数は51.4となりました。事前予想は51.0、6月は48.0でした。
- 8月のPMI速報値は、製造業が市場予想の49.5に対し、48.0となりました。サービス業は市場予想の54.0に対し、55.2となりました。
- 7月の生産者物価指数（PPI）は、市場予想の前月比0.2%上昇に対し、同0.1%上昇となりました。前年同月比では2.2%上昇となり、6月の同2.6%上昇から低下しました。コアPPIは前月比変わらず（市場予想は同0.2%上昇）となり、前年同月比では2.4%上昇しました（6月の同3.0%上昇から低下）。
- 7月の消費者物価指数（CPI）は、事前予想通りに前月比で0.2%上昇しました（6月は同0.1%低下）。前年同月比では2.9%上昇となり、6月の同3.0%上昇から低下しました。食品とエネルギーを除いたコアCPIは、こちらも事前予想通りに前月比で0.2%上昇し（6月は同0.1%上昇）、前年同月比では3.2%上昇となりました（6月は同3.3%上昇）。前年比変化率で目立ったのが住居費の同5.1%上昇、食品の同2.9%上昇、交通サービスの同8.8%上昇で、中古の車・トラックは同10.9%下落しました。
- 2024年第2四半期のGDP成長率は、市場予想が速報値から変わらずの前期比年率2.8%だったのに対し、同3.0%に上方修正されました。個人消費支出（PCE）は、市場予想が速報値から変わらずの前期比2.3%増だったのに対し、同2.9%増となりました。
- 2024年第2四半期の企業利益の速報値は前年同期比11.2%増となりました。
- 7月の個人所得は前月比0.3%増となりました。事前予想は同0.2%増でした（6月は同0.2%増）。個人消費支出は予想通り同0.5%増となりました（6月は同0.3%増）。7月の個人消費支出（PCE）価格指数は、市場予想通りの前月比0.2%上昇となりました（6月は同0.1%上昇）。前年同月比では6月と変わらずの2.5%上昇となりました。
- 6月の建設支出は市場が前月比0.2%増を見込んでいたのに対し、同0.3%減となりました。前年同月比では6.2%増でした。また、5月分が当初発表の前月比0.1%減から同0.4%減に下方修正されましたが、前年同月比では当初発表の6.4%増から9.8%増に上方修正されました。

- 7月の小売売上高は前月比1.0%増となりました。事前予想は同0.3%増でした。6月は当初発表の前月比横ばいから同0.2%減に下方修正されました。
- 2024年第2四半期の労働生産性の速報値は前期比年率2.3%上昇となりました。事前予想は同1.6%上昇でした。単位労働コストは前期比0.9%上昇となりました。事前予想は同1.9%の上昇でした。
- 7月の鉱工業生産指数は市場予想の前月比0.1%低下に対し、同0.6%の低下となりました。6月は当初発表の前月比0.6%上昇から同0.3%上昇に下方修正されました。設備稼働率は77.8%となり、6月の78.4%から低下しました。
- 6月の卸売在庫は市場予想通り前月比0.2%増となりました。5月は当初発表の同0.6%増から同0.5%増に下方修正されました。
 - 7月の卸売在庫は前月比0.3%増となりました。6月は当初発表の同0.2%増から0.1%増に下方修正されました。
- 7月の小売在庫は前月比0.8%増となりました。6月は当初発表の同0.7%増から同0.9%増に上方修正されました。
- 6月の企業在庫は市場予想通り前月比0.3%増となりました。5月は同0.5%増でした。
- 6月の製造業新規受注は市場予想通り前月比3.3%減となりました。5月は当初発表の同0.5%減から同3.0%減に下方修正されました。
- 6月のS&P コアロジック・ケース・シラー 住宅価格指数（季節調整前）は前月比0.6%上昇しました。5月は同1.0%の上昇でした。前年同月比では6.5%上昇となりました（5月は同6.9%上昇）。
- 7月の輸入物価指数は前月比0.1%上昇しました。事前予想は同0.1%低下でした（6月は同横ばい）。前年同月比では1.6%上昇しました（6月は同1.5%上昇）。輸出物価指数は前月比0.7%上昇しました。事前予想は同0.1%低下でした（6月は同0.3%低下）。前年同月比では1.4%上昇しました（6月は同1.0%上昇）。
- 6月の貿易収支の赤字額は731億ドルとなりました。5月は750億ドルの赤字でした。
 - 7月の財の貿易収支の赤字額は1,027億ドルとなりました。輸入は前月比2.3%増（6月は同0.8%増）、輸出は前月比変わらずでした（6月は同2.7%増）。
- 民間調査機関コンファレンスボードが発表した8月の消費者信頼感指数は事前予想の100.1に対し、103.3となりました。7月も当初発表の100.3から101.9に上方修正されました。
- 8月のミシガン大学消費者信頼感指数の確報値は67.9となりました。1年先のインフレ期待は前月の2.9%から2.8%に低下しました。

● 雇用関係

- 7月の雇用統計では、非農業部門雇用者数が市場予想の18万人増を下回る11万4,000人増となりました。6月は当初発表の20万6,000人増から17万9,000人増に下方修正されました（6月の当初の市場予想は18万9,000人増）。
 - 7月の失業率は、予想が6月から横ばいの4.1%だったのに対し、4.3%に上昇しました（5月は4.0%、4月は3.9%、3月は3.8%、2月も3.9%、1月と2023年12月、11月は3.7%、10月は3.9%、9月は3.8%でした。2020年2月は3.5%でしたが、同年5月は13.3%となりました）。
 - 労働参加率は6月から横ばいの62.6%という予想に対し、7月は62.7%に上昇しました（5月は62.5%、4月は62.7%、3月は62.7%、2月、1月と2023年12月は62.5%、11月は62.8%、10月は62.7%、9月は62.8%）。
 - 7月の週平均労働時間は、予想が6月から変わらずの34.3時間だったのに対し、34.2時間に減少しました（5月は34.3時間、4月は34.3時間、3月は34.4時間、2月は34.3時間、1月は34.2時間、2023年12月は34.3時間、11月は34.4時間、10月は34.3時間、9月は34.4時間）。
 - 7月の平均時給は前月比0.3%増の予想に対し、同0.2%増（前月の35.00ドルから35.07ドルに増加）となりました（6月は同0.3%増、5月は同0.2%増、4月は同0.2%増、3月は同0.3%増、2月は同0.2%増、1月は同0.5%増、2023年12月、11月は同0.4%増、10月は同0.2%増、9月は同0.3%増）。
 - ✓ 前年同月比では3.6%増に伸びが低下し、6月は当初発表の同3.9%増から同3.8%増に下方修正されました（5月は同4.1%増、4月は同4.0%増、3月は同4.1%増、2月は同4.3%増、1月は同4.4%増、2023年12月は同4.0%増、11月は同4.0%増、10月は同4.0%増、9月は同4.2%増）。
- 失業保険継続受給件数（季節調整済み）は、前月の185万1,000件から186万3,000件に増加しました。
 - 2024年8月1日発表の週間新規失業保険申請件数：24万9,000件（当初の発表通り）。
 - 2024年8月8日発表の週間新規失業保険申請件数：23万3,000件
 - 2024年8月15日発表の週間新規失業保険申請件数：22万7,000件
 - 2024年8月22日発表の週間新規失業保険申請件数：23万2,000件
 - 2024年8月29日発表の週間新規失業保険申請件数：23万1,000件

● 企業業績

- 2024年第2四半期の決算発表を終えていない企業はわずか数社となりました。時価総額の98.1%に相当する494銘柄が発表を終え、そのうち、389銘柄(78.7%)で営業利益が予想を上回り、492銘柄中303銘柄(61.6%)で売上高が予想を上回りました。
 - 2024年第2四半期の営業利益は前期比で7.0%増、前年同期比では6.6%増が見込まれており、過去最高を更新する勢いです。
 - 売上高は前期比で3.6%増、前年同期比では5.8%増となる見通しで、過去最高を記録した2023年第4四半期をわずかに0.3%下回る水準となる見込みです。
 - 2024年第2四半期の営業利益率は、2024年第1四半期の11.58%と2023年第2四半期の11.87%を上回る11.99%になると予想されます(1993年以降の平均は8.83%、過去最高は2021年第2四半期の13.54%)。
 - 2024年第2四半期中に株式数の減少によってEPSが大きく押し上げられた発表済みの銘柄の割合は12.9%となっています。この割合は、2023年第1四半期は13.1%、2023年第2四半期は16.3%でした。
- 2024年第3四半期(決算期がずれている企業は9月末に決算発表を開始する予定)に目を向けると、営業利益は前期比で4.4%増、前年同期比で16.8%増と予想され、過去最高を更新する見通しです。
- 2024年通年の利益は前年比11.4%増が見込まれており、この予想に基づく2024年の予想株価収益率(PER)は23.8倍となっています。
- 2025年通年の利益は前年比16.6%増が見込まれており、予想PERは20.4倍となっています。

● 個別銘柄

- 半導体メーカーのIntel (INTC)は、営業利益が予想を下回り、ガイダンスを下方修正しました。また、100億ドルのコスト削減プログラムの一環として、従業員の15%削減(Intelの従業員数は11万人)と配当停止を発表しました。
- 情報技術企業のCisco (CSCO)は、コスト削減の取り組みとして、従業員を7%削減(約6,000人、人員削減は2回目)することを明らかにしました。
- コーヒーチェーン大手のStarbucks (SBUX)は、2024年9月9日付でラクスマン・ナラシンハン最高経営責任者(CEO)に代わり、ファストフード・レストランのChipotle Mexican Grill (CMG)のCEOであるブライアン・ニコル氏を新CEOに任命すると発表しました。
- ランジェリー小売業のVictoria's Secret (VSCO)は、ヒラリー・スーパー氏(Savage X FentyのCEO)を次期CEOに任命しました。

- 米国の格安航空会社の JetBlue (JBLU) は、借り換えのために 30 億ドルを借り入れる（私募で 15 億ドル、ローンで 12 億 5,000 万ドル、転換社債で 4 億ドル）ことを明らかにしました。これを受けて、S&P グローバル・レーティングは同社の格付けを「B」から「B-」に引き下げました。

● 配当金

- 2024 年 8 月の配当支払額は前年同月比 5.9%減となりました。7 月は同 9.0%増、6 月は同 15.1%増で、年初来では 3.4%増加しています。
 - 8 月の配当支払金は前年同月の 1 株当たり 8.13 ドルから 7.65 ドルに減少し、支払総額も前年同月の 679 億ドルから 642 億 7,000 万ドルに減少しました。
- 2024 年 8 月は、増配が 21 件、配当開始が 0 件、減配が 1 件で、配当停止は 2 件でした。2023 年 8 月は、増配が 19 件、配当開始が 0 件で、減配が 4 件、配当停止は 0 件でした。
 - 年初来では、増配が 235 件、配当開始が 6 件、減配が 10 件、配当停止が 2 件となっています。2023 年の同期間は、増配が 240 件、配当開始が 7 件、減配が 19 件で、配当停止は 4 件でした。
 - 2023 年通年では、増配が 348 件、配当開始が 11 件、減配が 26 件、配当停止が 4 件ありました。2022 年は、増配が 377 件、配当開始が 7 件、減配が 5 件で、配当停止はありませんでした。
- 8 月の増配率の中央値は、7 月の 5.66%から 6.76%に上昇しました（6 月は 2.62%でした）。年初来では 6.76%（7 月末時点は 6.67%、6 月末時点は 6.78%）となっています。8 月の平均増配率は 7 月の 9.24%から 7.15%に低下し（6 月は 8.46%）、年初来では 8.35%（7 月末時点は 8.48%。いずれも 2 倍以上になった銘柄を除く）となりました。2023 年の年間の増配率の中央値は 7.01%（2022 年と 2021 年はともに 8.33%）、平均値は 8.68%（同 11.80%、同 11.76%）でした。
- 2024 年の配当に関して、予想は引き続き増加となっており、年間の増配率は 1936 年以降の平均である 5.79%を上回る見通しです。この予想では、Alphabet (GOOG) による最近の配当開始（年間配当額を 87 億ドル押し上げ）、米銀による 6 月と 7 月の増配（FRB が 6 月にストレステストを通じて認可）、米連邦公開市場委員会（FOMC）による 2024 年第 3 四半期末時点での利下げ開始（9 月 18 日の FOMC 会合において）に加えて、景気の大規模な減速は回避され、インフレ再燃への懸念は限定的（だが高まりつつある）で、政府の財政政策の大きな調整はない（政策とインセンティブの継続を予想）ことを織り込んでおり、2024 年の実際の 1 株当たり配当支払額は、2023 年から約 6%増加すると予想しています（2023 年は前年比 5.05%増、2022 年は同 10.80%増）。これにより 2024 年の現金配当は、15 年連続の増加と 13 年連続の過去最高の更新が見込まれます。

- 注目すべき点として、2024年第3四半期と2024年第4四半期の配当支払い額は、過去最高の更新が予想されます（現在の過去最高は2023年第4四半期）。

インデックス・レビュー

S&P 500 指数

8月のS&P500指数は厳しい出だしとなり、月初の3営業日で6.08%下落しました。背景には円キャリートレードの巻き戻しがあり、円が1ドル142円まで上昇した結果、日経平均株価は3営業日で12.40%下落しました。米国のVIX恐怖指数は、景気後退懸念が再燃し、米国株が幅広く下落する中で、65.37まで上昇しました（これら3つの指数は月末までにある程度回復）。数日をかけてキャリートレードが解消され、経済を巡る懸念が後退するのに伴い、市場は回復基調となり、9月17-18日のFOMC会合で予想される利下げに投資家の注目が集まりました（0.25%と0.50%のどちらの利下げ幅が見込まれるかが議論されています）。相場の好転に加えて、2024年第2四半期決算（98%の銘柄が発表済み）は好調な内容が続いており、利益は四半期ベースで過去最高を更新する見通しです（2024年第3四半期と第4四半期も過去最高益の更新が予測されています）。更にインフレ率も低下が続きました。その結果、幅広い銘柄で株価が反発し、S&P500指数は前月末比6.08%の下落から切り返し、同2.28%上昇で月を終え、終値での過去最高値を僅かに0.33%下回る水準となりました。

8月の日中ボラティリティ（日中の値幅を安値で除して算出）は7月の0.95%から1.32%に上昇し、2023年3月（1.51%）以来の高水準となりました。年初来では0.91%となっています。なお、2023年通年は1.04%、2022年は1.83%、2021年は0.97%、2020年は1.51%でした（長期平均は1.42%）。8月の出来高は、7月の前月比9%減少の後に、同1%増加し（営業日数調整後）、前年同月比では2%減少となりました。2024年8月までの12カ月間では前年同期比8%減少しています。2023年通年では前年比1%減で、2022年通年では同6%増でした。

8月は1%以上変動した日数は22営業日中9日（上昇が6日、下落が3日）で、市場は2日で2%以上の変動を記録しました（上昇が1日、下落が1日）。7月は1%以上変動した日数は22営業日中6日（上昇が4日、下落が2日）、2%以上変動した日数が1日（下落）でした。年初来では、1%以上変動した日数は36日（上昇が24日、下落が12日）で、2%以上変動した日数は4日（上昇は2日、下落は2日）でした。2023年通年は、1%以上変動した日数が250営業日中63日（上昇が37日、下落が26日）、2%以上変動した日数が2日（上昇が1日、下落が1日）でした。8月は22営業日中14日で日中の変動率が1%以上となり、4日で日中の変動率が2%以上となりました。対して7月は1%以上の変動が22営業日中9日で、2%以上変動した日はありませんでした。年初来では、56日で日中の変動率が1%以上となり、2%以上変動した日数は6日ありました。2023年通年では1%以上の変動が113日、2%以上の変動が13日で、3%以上の変動はありませんでした（直近で3%以上の変動があったのは2022年11月30日）。2022年は1%以上の変動が219日、2%以上の変動が89日、3%以上の変動が20日でした（4%以上の変動が4日、5%以上の変動が1日）。

8月は値上がり銘柄数が若干減少しましたが、なお値下がり銘柄数を大幅に上回りました。8月の値上がり銘柄数は355銘柄（平均上昇率は5.51%）と、7月の364銘柄（同8.19%）から減少しました。8月の10%以上上昇した銘柄数は52銘柄（同14.21%）と、7月の116銘柄（同14.89%）から減少し、2銘柄（7月は6銘柄）が25%以上上昇しました。一方、8月の値下がり銘柄数は148銘柄（平均下落率は5.39%）と、7月の139銘柄（同5.63%）から増加しました。8月の10%以上下落した銘柄数は19銘柄（同17.81%）と7月の22銘柄（同16.58%）から減少し、4銘柄が25%以上下落しました（7月は4銘柄）。年初来では、値上がり銘柄数は372銘柄（平均上昇率は20.65%）で、272銘柄（同26.31%）が10%以上上昇し、110銘柄が25%以上上昇しました。一方、値下がり銘柄数は129銘柄（平均下落率は13.06%）で、68銘柄（同21.32%）が10%以上下落し、18銘柄が25%以上下落しました。2023年通年では、値上がり銘柄数は322銘柄で、値下がり銘柄数は179銘柄でした。10%以上上昇した銘柄数は248銘柄、10%以上下落した銘柄数は85銘柄でした。143銘柄が25%以上上昇し、20銘柄が25%以上下落しました。

S&P 500 トータル・リターン：累積

	S&P 500	S&P MidCap 400	S&P SmallCap 600	S&P Composite 1500	ダウ平均
2024年 8月	2.43%	-0.08%	-1.44%	2.18%	2.03%
2024年年初来	19.53%	12.24%	8.41%	18.82%	11.75%
3カ月	7.39%	4.05%	6.71%	7.20%	7.95%
6カ月	11.59%	7.79%	9.23%	11.33%	7.61%
12カ月	27.14%	18.75%	17.31%	26.42%	22.06%
3年	30.86%	17.83%	8.80%	29.52%	24.96%
5年	109.29%	77.78%	66.59%	106.23%	74.69%
10年	238.82%	151.98%	144.45%	230.05%	204.76%
15年	638.96%	495.51%	476.53%	626.83%	525.12%
20年	657.41%	623.79%	563.78%	659.05%	563.48%
25年	582.32%	1022.75%	990.76%	624.01%	585.08%

S&P 500 トータル・リターン：年率

12カ月	27.14%	18.75%	17.31%	26.42%	22.06%
3年	9.38%	5.62%	2.85%	9.01%	7.71%
5年	15.92%	12.20%	10.75%	15.58%	11.80%
10年	12.98%	9.68%	9.35%	12.68%	11.79%
15年	14.26%	12.63%	12.39%	14.14%	13.00%
20年	10.65%	10.40%	9.93%	10.67%	9.92%
25年	7.98%	10.16%	10.03%	8.24%	8.00%

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2024年8月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

S&P 500 構成銘柄の騰落状況

上昇／下落	8月	平均パーセント	3カ月	平均パーセント	年初来	平均パーセント
		変化 (%)		変化 (%)		変化 (%)
上昇	355	5.51	372	11.85	372	20.65
下落	148	-5.39	131	-9.86	129	-13.06
10%以上の上昇	52	14.21	205	17.12	272	26.31
10%以上の下落	19	-17.81	50	-18.97	68	-21.32
25%以上の上昇	2	35.39	18	29.98	110	39.49
25%以上の下落	4	-33.02	11	-35.78	18	-38.09
50%以上の上昇	0	0.00	0	0.00	14	71.30
50%以上の下落	0	0.00	0	0.00	2	-60.35

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2024年8月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

S&P 500指数のセクター株価：2024年8月30日

S&P 500指数の株価変動	年初来	2021年 末以降	2021年 末以降の 時価総額	SVB危機 以降	バイデン 大統領の 就任以降	米大統領選 以降	最高値 以降	2022年10月 安値以降	新型コロナ 発生後の 安値以降	2020年2月 高値以降	2024年8月30日			
											8月	3か月	6か月	1年
	騰落率(%)	騰落率(%)	変動額(10億ドル)	(2024/8/30- 2023/3/8)	(2024/8/30- 2021/1/20)	(2024/8/30- 2020/11/3)	(2024/8/30- 2024/7/16)	(2024/8/30- 2022/10/12)	(2024/8/30- 2020/3/23)	(2024/8/30- 2020/2/19)	8月	3か月	6か月	1年
エネルギー	8.72%	64.61%	\$595	7.61%	110.57%	211.92%	-1.40%	12.94%	284.39%	68.98%	-2.32%	-1.72%	6.54%	2.71%
素材	9.96%	4.17%	\$30	15.19%	24.24%	42.40%	2.34%	37.58%	145.54%	56.19%	2.22%	3.15%	7.71%	13.93%
資本財・サービス	15.14%	24.12%	\$872	28.61%	46.48%	63.91%	2.39%	54.87%	169.57%	56.80%	2.67%	6.51%	8.63%	21.68%
一般消費財	5.79%	-6.87%	-\$474	35.25%	9.90%	25.08%	-4.60%	36.81%	110.15%	43.11%	-1.08%	5.38%	1.00%	11.55%
生活必需品	15.78%	9.69%	\$475	17.42%	30.86%	33.64%	6.11%	25.22%	76.18%	33.31%	5.78%	7.08%	11.83%	15.53%
ヘルスケア	15.05%	11.30%	\$419	24.49%	32.43%	49.57%	4.79%	28.74%	110.07%	51.15%	4.99%	9.51%	8.50%	18.10%
金融	21.21%	16.79%	\$2,004	30.93%	47.94%	83.98%	4.99%	50.88%	158.63%	47.31%	4.36%	9.83%	13.31%	33.04%
情報技術	26.53%	40.68%	\$2,957	75.86%	85.60%	115.94%	-5.16%	110.47%	246.82%	138.59%	1.16%	8.21%	14.67%	37.72%
コミュニケーション・サービス	22.34%	12.51%	\$57	69.92%	33.58%	50.85%	-2.86%	86.99%	118.46%	55.96%	1.23%	1.59%	10.44%	31.01%
公益事業	19.75%	5.99%	\$147	15.67%	20.05%	17.28%	8.30%	23.41%	69.27%	8.53%	4.29%	4.91%	22.89%	21.33%
不動産	8.47%	-15.97%	\$55	14.04%	18.96%	23.84%	7.22%	28.03%	72.05%	6.69%	5.64%	14.67%	11.20%	17.65%
S&P 500	18.42%	18.51%	\$7,082	41.49%	46.64%	67.65%	-0.33%	57.91%	152.45%	66.81%	2.28%	7.03%	10.83%	25.31%
S&P 500のトータル・リターン	19.53%	23.61%		44.71%	55.02%	77.89%	-0.16%	62.66%	170.74%	79.26%	2.43%	7.39%	11.59%	27.14%
S&P500の株価	5648.40	4766.18		3992.01	3851.85	3369.16	5667.20	3577.03	2237.40	3386.15	5522.30	5277.51	5096.27	4507.66
パフォーマンスが最高のセクター	26.53%	64.61%		75.86%	110.57%	211.92%	8.30%	110.47%	284.39%	138.59%	5.78%	14.67%	22.89%	37.72%
パフォーマンスが最低のセクター	5.79%	-15.97%		7.61%	9.90%	17.28%	-5.16%	12.94%	69.27%	6.69%	-2.32%	-1.72%	1.00%	2.71%
パフォーマンスの差	20.74%	80.58%		68.25%	100.66%	194.65%	13.46%	97.52%	215.12%	131.90%	8.11%	16.39%	21.89%	35.01%

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2024年8月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

S&P 500騰落率ベスト10：2024年8月

ティッカー	会社名	8月	第3四半期 期初来	年初来	2022年末 以降	2021年末 以降	2020年 3月23日以降	2020年 2月19日以降	2000年 以降	セクター
K	Kellanova	38.62%	39.75%	44.18%	13.15%	25.13%	50.50%	21.58%	161.61%	生活必需品
FTNT	Fortinet Inc	32.17%	27.28%	31.06%	56.90%	6.72%	346.51%	221.77%	396.10%	情報技術
AXON	Axon Enterprise Inc	21.65%	24.04%	41.28%	119.95%	132.46%	475.57%	310.54%	372.07%	資本財・サービス
SBUX	Starbucks Corp	21.32%	21.48%	-1.50%	-4.67%	-19.15%	67.23%	4.91%	3019.58%	一般消費財
CLX	Clorox Co	20.00%	16.00%	11.02%	12.81%	-9.21%	-6.95%	-3.96%	214.26%	生活必需品
CRWD	CrowdStrike Holdings, Inc.	19.54%	-27.64%	8.60%	163.35%	35.42%	438.93%	319.93%		情報技術
LLY	Eli Lilly & Co	19.37%	6.04%	64.69%	162.42%	247.56%	706.40%	581.69%	1343.64%	ヘルスケア
KVUE	Kenvue Inc.	18.71%	20.74%	1.95%						生活必需品
ACGL	Arch Capital Group Ltd	18.07%	12.09%	52.27%	80.14%	154.42%	386.20%	134.72%	7961.86%	金融
PGR	Progressive Corp	17.78%	21.42%	58.34%	94.43%	145.69%	278.96%	209.75%	4038.50%	金融

S&P 500騰落率ワースト10：2024年8月（スピンオフ等の資本の変動は未調整）

ティッカー	会社名	8月	第3四半期 期初来	年初来	2022年末 以降	2021年末 以降	2020年 3月23日以降	2020年 2月19日以降	2000年 以降	セクター
SMCI	Super Micro Computer Inc	-37.62%	-46.58%	53.98%	433.13%	895.90%	2510.02%	1488.17%		情報技術
MRNA	Moderna, Inc.	-35.08%	-34.82%	-22.17%	-56.91%	-69.53%	191.31%	309.09%		ヘルスケア
DG	Dollar General Corp	-31.08%	-37.25%	-38.97%	-66.31%	-64.82%	-40.68%	-49.34%		生活必需品
INTC	Intel Corp	-28.30%	-28.83%	-56.14%	-16.61%	-57.20%	-55.55%	-67.16%	-46.45%	情報技術
WBA	Walgreens Boots Alliance Inc	-22.07%	-23.52%	-64.57%	-75.24%	-82.27%	-78.79%	-82.24%	-68.38%	生活必需品
DLTR	Dollar Tree Inc	-19.02%	-20.87%	-40.52%	-40.26%	-39.87%	10.63%	-8.15%	684.86%	生活必需品
CRL	Charles River Laboratories International Inc.	-18.99%	-4.27%	-16.35%	-9.25%	-47.52%	96.77%	10.88%		ヘルスケア
BBWI	Bath & Body Works Inc	-16.30%	-21.23%	-28.73%	-27.01%	-55.92%	235.44%	25.04%	42.04%	一般消費財
ABNB	Airbnb, Inc. Class A	-15.94%	-22.63%	-13.83%	37.20%	-29.54%				一般消費財
ETSY	Etsy, Inc.	-15.43%	-6.60%	-32.03%	-54.01%	-74.84%	66.79%	3.59%		一般消費財

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2024年8月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

S&P500銘柄入れ替え

追加/除外	実施日	ティッカー	会社名	セクター	サブセクター	注
追加	6/21/2024	KKR	KKR & Co	金融	資産運用会社・資産管理銀行	S&P 1500指数に新たに追加
追加	6/21/2024	CRWD	CrowdStrike Holdings	情報技術	システム・ソフトウェア	S&P 1500指数に新たに追加
追加	6/21/2024	GDDY	GoDaddy	情報技術	インターネットサービスおよびインフラストラクチャー	S&P 中型株400指数から移行
除外	6/21/2024	RHI	Robert Half	資本財・サービス	人事・雇用サービス	S&P小型株600指数に追加
除外	6/21/2024	CMA	Comerica	金融	都市銀行	S&P小型株600指数に追加
除外	6/21/2024	ILMN	illumina	ヘルスクア	ライフサイエンス・ツール/サービス	S&P中型株400指数に追加
追加	5/7/2024	VST	Vistra	公益事業	独立系発電事業者・エネルギー販売業者	S&P 中型株400指数から移行
除外	5/7/2024	PDX	Pioneer Natural Resources	エネルギー	石油・ガス探査・開発	Exxon Mobil (XOM)により買収
追加	3/28/2024	SOLV	Solventum Corp	ヘルスクア	ヘルスクア用品	3M (MMM)からスピンオフ
追加	4/1/2024	GEV	GE Vernova	資本財・サービス	重電気機器	General Electric (GE)からスピンオフ
除外	4/2/2024	VFC	V.F.	一般消費財	アパレル・アクセサリ・贅沢品	S&P小型株600指数に移行
除外	4/2/2024	XRAY	Dentsply Sirona	ヘルスクア	ヘルスクア用品	S&P中型株400指数に移行
追加	3/15/2024	SMCI	Super Micro Computer	情報技術	テクノロジーハードウェア・コンピュータ記憶装置・周辺機器	S&P 中型株400指数から移行
追加	3/15/2024	DECK	Deckers Outdoor	一般消費財	履物	S&P 中型株400指数から移行
除外	3/15/2024	WHR	Whirlpool	一般消費財	家庭用電気機器	S&P中型株400指数に移行
除外	3/15/2024	ZION	Zion Bancorporation	金融	地方銀行	S&P中型株400指数に移行
追加	12/15/2023	UBER	Uber Technologies	資本財・サービス	旅客陸上輸送	S&P 1500指数に新たに追加
追加	10/17/2023	JBL	Jabil	情報技術	電子製品製造サービス	S&P 中型株400指数から移行
追加	12/15/2023	BLDR	Builders FirstSource	資本財・サービス	建設関連製品	S&P 中型株400指数から移行
除外	12/15/2023	SEE	Sealed Air	素材	紙・プラスチック包装製品・素材	S&P小型株600指数に追加
除外	12/15/2023	ALK	Alaska Air Group	資本財・サービス	旅客航空輸送	S&P小型株600指数に追加
除外	12/15/2023	SEDG	SolarEdge Technologies	情報技術	半導体素材・装置	S&P小型株600指数に追加
追加	10/17/2023	LULU	Lululemon Athletica	一般消費財	アパレル・アクセサリ・贅沢品	S&P 1500指数に新たに追加
追加	10/17/2023	HUBB	Hubbell Inc	資本財・サービス	電気部品・設備	S&P 中型株400指数から移行
除外	10/17/2023	ATVI	Activision Blizzard Inc.	コミュニケーションサービス	インタラクティブ・ホーム・エンターテインメント	Microsoft (MSFT)により買収
除外	10/17/2023	OGN	Organon & Co	ヘルスクア	医薬品	S&P小型株600指数に移行
追加	9/15/2023	BX	Blackstone Inc	金融	資産運用会社・資産管理銀行	S&P 1500指数に新たに追加
追加	9/15/2023	ABNB	Airbnb Inc	一般消費財	ホテル・リゾート・クルーズ船	S&P 1500指数に新たに追加
除外	9/15/2023	LNC	Lincoln National	金融	生命保険・健康保険	S&P小型株600指数に移行
除外	9/15/2023	NWL	Newell Brands	一般消費財	家庭用品・雑貨	S&P小型株600指数に移行
追加	8/24/2023	KVUE	Kenvue Inc	生活必需品	パーソナル用品	Johnson & Johnson (JNJ)からスプリットオフ
除外	8/24/2023	AAP	Advance Auto Parts	一般消費財	自動車小売り	S&P小型株600指数に移行
追加	6/16/2023	PANW	Palo Alto Networks	情報技術	システム・ソフトウェア	S&P 1500指数に新たに追加
除外	6/16/2023	DISH	DISH Network	コミュニケーションサービス	ケーブル・衛星テレビ	S&P小型株600指数に移行
追加	5/3/2023	AXON	Axon Enterprise	資本財・サービス	航空宇宙・防衛	S&P 中型株400指数から移行
除外	5/3/2023	FRC	First Republic Bank	金融	地方銀行	米連邦預金保険公社 (FDIC) の管理下に入った後、JP Morgan (JPM)に売却
追加	3/17/2023	FICO	Fair Isaac & Co	情報技術	アプリケーション・ソフトウェア	S&P 中型株400指数から移行
除外	3/17/2023	LUMN	Lumen Technologies	コミュニケーションサービス	代替通信事業会社	S&P中型株400指数に移行
追加	3/14/2023	BG	Bunge Limited	生活必需品	農産物	S&P 1500指数に新たに追加
除外	3/14/2023	SBNY	Signature Bank	金融	地方銀行	米連邦預金保険公社 (FDIC) の管理下に入る
追加	3/14/2023	PODD	Insulet	ヘルスクア	ヘルスクア機器	S&P 1500指数に新たに追加
除外	3/14/2023	SIVB	SVB Financial Group	金融	地方銀行	米連邦預金保険公社 (FDIC) の管理下に入る
追加	1/3/2023	GEHC	GE HealthCare Technologies	ヘルスクア	ヘルスクア機器	General Electric (GE)からスピンオフ
除外	1/4/2023	VNO	Vornado Realty Trust	不動産	オフィス不動産等信託	S&P中型株400指数に移行
追加	12/21/2022	STLD	Steel Dynamics	素材	鉄鋼	S&P 中型株400指数から移行
除外	12/21/2022	ABMD	Abiomed	ヘルスクア	ヘルスクア機器	Johnson & Johnson (JNJ)により買収
追加	10/31/2022	ACGL	Arch Capital Group Ltd	金融	動産保険・損害保険	S&P 1500指数に新たに追加
除外	10/31/2022	TWTR	Twitter	コミュニケーションサービス	インタラクティブ・メディアおよびサービス	Elon Musk氏が買収
追加	10/11/2022	TRGP	Targa Resources	エネルギー	石油・ガス貯蔵・輸送	S&P中型株400指数から移行
除外	10/11/2022	NLSN	Nielsen Holdings	資本財・サービス	調査・コンサルティングサービス	Elliot Managementにより買収
追加	9/30/2022	PCG	PG&E Corp	公益事業	電力	S&P 1500指数に新たに追加
追加	9/30/2022	EQT	EQT Corp.	エネルギー	石油・天然ガス探査・生産	S&P中型株400指数から移行
除外	9/30/2022	CTXS	Citrix Systems Inc	情報技術	アプリケーション・ソフトウェア	Vista Equity Partnersにより買収
除外	9/30/2022	DRE	Duke Realty Corp	不動産	産業用不動産投資信託	Prologis (PLD)により買収
追加	9/16/2022	CSGP	CoStar Group Inc	資本財・サービス	調査・コンサルティングサービス	S&P 1500指数に新たに追加
追加	9/16/2022	INVH	Invitation Homes Inc	不動産	住宅用不動産投資信託	S&P 1500指数に新たに追加
除外	9/16/2022	PVH	PVH Corp	一般消費財	アパレル・アクセサリ・贅沢品	S&P中型株400指数に追加
除外	9/16/2022	PENN	PENN Entertainment Inc	不動産	カジノ・ゲーム	S&P中型株400指数に追加
追加	6/17/2022	KDP	Keurig Dr Pepper	生活必需品	清涼飲料	S&P 1500指数に新たに追加
追加	6/17/2022	ON	ON Semiconductor	情報技術	半導体	S&P 1500指数に新たに追加
除外	6/17/2022	IPGP	IIPG Photonics	情報技術	電子製品製造サービス	S&P中型株400指数に移行
除外	6/17/2022	UA	Under Armour Cl 'C'	一般消費財	アパレル・アクセサリ・贅沢品	S&P中型株400指数に移行
除外	6/17/2022	UAA	Under Armour Cl 'A'	一般消費財	アパレル・アクセサリ・贅沢品	S&P中型株400指数に移行
追加	6/7/2022	VICI	VICI Properties Inc.	不動産	特化型不動産投資信託	S&P 1500指数に新たに追加
除外	6/7/2022	CERN	Cerner Corp	ヘルスクア	ヘルスクアテクノロジー	Oracle (ORCL)により買収
追加	4/3/2022	CPT	Camden Property Trust	不動産	住宅用不動産投資信託	S&P中型株400指数から移行
除外	4/3/2022	PBCT	People's United Financial	金融	地方銀行	M&T Bank (MTB)により買収
追加	3/1/2022	MOH	Molina Healthcare	ヘルスクア	管理健康医療	S&P中型株400指数から移行
除外	3/1/2022	INFO	HS Markit	資本財・サービス	調査・コンサルティングサービス	S&P Global (SPGI)により買収
追加	2/1/2022	CEG	Constellation Energy	公益事業	電力	Exelon (EXC)からスピンオフ
除外	2/2/2022	GPS	Gap	一般消費財	衣料小売り	S&P中型株400指数に移行

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2024年8月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

2024年 9月	イベント
Monday, September 2, 2024	米国は祝日。銀行は休業、市場も休場。
Tuesday, September 3, 2024	8月のS&Pグローバル製造業PMI（午前9時45分発表）
Tuesday, September 3, 2024	8月のISM製造業景況指数（午前10時発表）
Tuesday, September 3, 2024	7月の建設支出（午前10時発表）
Wednesday, September 4, 2024	8月の自動車販売台数
Wednesday, September 4, 2024	7月の貿易収支
Wednesday, September 4, 2024	7月の製造業受注（午前10時発表）
Wednesday, September 4, 2024	7月のJOLTS（Job Openings and Labor Turnover Survey、求人労働異動調査、午前10時発表）
Wednesday, September 4, 2024	地区連銀経済報告（午後2時発表）
Thursday, September 5, 2024	8月のADP全米雇用統計
Thursday, September 5, 2024	2024年第2四半期の労働生産性、単位労働コスト
Thursday, September 5, 2024	8月のS&Pグローバルサービス業PMI（午前9時45分発表）
Thursday, September 5, 2024	8月のISM非製造業景況指数（午前10時発表）
Friday, September 6, 2024	8月の雇用統計
Monday, September 9, 2024	7月の卸売在庫（午前10時発表）
Wednesday, September 11, 2024	9.11米同時多発テロ事件から23年目
Wednesday, September 11, 2024	8月の消費者物価指数
Thursday, September 12, 2024	8月の卸売物価指数
Friday, September 13, 2024	13日の金曜日。市場は13日の金曜日に57.1%の確率で上昇、対して、全営業日では52.3%の確率で上昇。
Friday, September 13, 2024	8月の輸出・輸入物価統計
Friday, September 13, 2024	9月のミシガン大学消費者信頼感指数速報値（午前10時発表）
Tuesday, September 17, 2024	2日間の米連邦公開市場委員会（FOMC）会合がスタート
Tuesday, September 17, 2024	8月の小売売上高
Tuesday, September 17, 2024	8月の鉱工業生産
Tuesday, September 17, 2024	7月の企業在庫（午前10時発表）
Tuesday, September 17, 2024	9月のNAHB住宅市場指数（午前10時発表）
Wednesday, September 18, 2024	8月の住宅着工件数と建設許可件数
Wednesday, September 18, 2024	FOMC声明（午後2時発表）
Wednesday, September 18, 2024	FRB議長の記事会見（午後2時30分）
Thursday, September 19, 2024	日本銀行の金融政策決定会合
Thursday, September 19, 2024	8月中古住宅販売件数（午前10時発表）
Thursday, September 19, 2024	8月の景気先行指数（午前10時発表）
Friday, September 20, 2024	トリプル・ウィッチングデー（株価指数先物、株価指数オプション、個別株オプションの最終取引日が重なる日）とS&P500指数のリバランス日
Monday, September 23, 2024	9月のS&Pグローバル総合PMI速報値（午前9時45分発表）
Tuesday, September 24, 2024	7月のS&Pコアロジック・ケース・シラー住宅価格指数
Tuesday, September 24, 2024	7月のFHFA住宅価格指数
Tuesday, September 24, 2024	9月のコンファレンスボード消費者信頼感指数（午前10時発表）
Wednesday, September 25, 2024	8月の新築住宅販売件数（午前10時発表）
Thursday, September 26, 2024	8月の耐久財受注
Thursday, September 26, 2024	2024年第2四半期の国内総生産（GDP）成長率確報値
Thursday, September 26, 2024	2024年第2四半期の企業利益
Thursday, September 26, 2024	8月中古住宅販売仮契約指数（午前10時発表）
Friday, September 27, 2024	8月の財の貿易収支
Friday, September 27, 2024	8月の個人所得・個人消費支出
Friday, September 27, 2024	8月の小売在庫
Friday, September 27, 2024	8月の卸売在庫
Friday, September 27, 2024	9月のミシガン大学消費者信頼感指数確報値（午前10時発表）
Monday, September 30, 2024	9月と第3四半期の最終取引日
Tuesday, October 1, 2024	9月のS&Pグローバル製造業PMI（午前9時45分発表）
Tuesday, October 1, 2024	9月のISM製造業景況指数（午前10時発表）
Tuesday, October 1, 2024	8月の建設支出（午前10時発表）
Tuesday, October 1, 2024	8月のJOLTS（Job Openings and Labor Turnover Survey、求人労働異動調査、午前10時発表）
Wednesday, October 2, 2024	9月の自動車販売台数
Wednesday, October 2, 2024	9月のADP全米雇用統計
Thursday, October 3, 2024	9月のS&Pグローバルサービス業PMI（午前9時45分発表）
Thursday, October 3, 2024	9月のISM非製造業景況指数（午前10時発表）
Thursday, October 3, 2024	8月の製造業受注（午前10時発表）
Friday, October 4, 2024	9月の雇用統計
毎水曜日	週間住宅ローン申請指数（祝日調整済み）
毎水曜日	EIA週間石油在庫統計（午前10時30分発表、祝日調整済み）
毎木曜日	週間新規失業保険申請件数

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス 2024年8月末現在。表は図示する目的のためだけのものです。過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

免責事項

著作権© 2024年 S&Pグローバルの一部門であるS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC。不許複製、Standard & Poor's、S&P、S&P 500、は、S&Pの一部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・フィナンシャル・サービシーズLLC（以下「S&P」）の登録商標です。LATIXX、MEXICO TITANS及びSPCIIは、S & Pグローバル部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・フィナンシャル・サービシーズLLC（以下「S&P」）の商標です。「ダウ・ジョーンズ」は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングスLLC（以下「ダウ・ジョーンズ」）の登録商標です。商標は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCにライセンス供与されています。本資料の全体または一部の再配布、複製、そして（または）複写を書面による承諾なしに行うことを禁じます。本資料は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ、S&Pまたはそれぞれの関連会社（これらを合わせて「S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス」という）が必要なライセンスを持たない地域におけるサービスの提供を行うものではありません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが提供する全ての情報は、個人とは無関係であり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整したものではありません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、その指数を第三者にライセンス供与することに関連した報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表すアセット・クラスへのエクスポージャーは、指数に基づく投資可能商品を通して得られます。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、第三者が提供し、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの指数のリターンに基づく投資リターンを提供することを旨とする投資ファンド、或いはその他のビークルを提供、推奨、販売、宣伝、或いは運用することはありません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数に基づく投資商品が指数のパフォーマンスに正確に連動し、プラスの投資リターンを上げることについて保証しません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCは投資顧問会社ではなく、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルに投資する適否に関して表明することはありません。そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルへの投資決定は、本資料で言及されたいかなる部分も信頼して実行されるべきではありません。そうしたファンド或いはその他のビークルに投資しようとする投資家に対して、投資ファンド或いはその他のビークルの発行体またはその代理人が作成する目論見書または類似文書に記載されているように、そうしたファンドへの投資に伴うリスクを注意深く検討した上で投資することを助言します。指数への証券の組入は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスによるその証券の買い、売り、または保有の推奨ではなく、また投資助言でもありません。S&Pの米国のベンチマーク指数及びダウ・ジョーンズの米国のベンチマーク指数の終値は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスが、指数構成銘柄の各主要取引所が設定する終値に基づいて計算します。終値はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスがサードパーティ・ベンダーの1社から受け取り、別のベンダーから届く価格と比較することにより検証されます。各ベンダーは終値を主要取引所から受け取ります。日中の実時間価格は、2次検証を経ずに同様に計算されます。

これらの資料は、信頼できると考えられる情報源から一般に公衆が入手できる情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されたものです。本資料に記載されるいかなる内容（指数データ、格付、クレジット関連の分析とデータ、モデル、ソフトウェア、或いはその他のアプリケーションまたはそれからの出力）も他のいかなる部分（以下「内容」という）も、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスによる事前の書面による承認なくして、いかなる形式とイかなる手段によっても、改変、リバースエンジニアリング、再製作または配布、或いはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容を、不法な或いは未認可の目的に使用してはいけません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス及びいかなるサードパーティ・データ・プロバイダー及びライセンサー（合わせて「S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス当事者」という）も、内容の正確性、完全性、適時性或いは利用可能性を保証しません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる過誤、遺漏についても、原因の如何を問わず、内容を用いて得られた結果について責任を負いません。内容は、「現状」ベースで提供されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、特定の目的または利用に対する販売可能性または適合性についてのいかなる保証も、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、或いは内容が何らかのソフトウェアまたはハードウェア構成により動作することの保証も、以上を含みそれに限定されない、あらゆる明示的または暗示的保証も拒否します。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連して発生する、いかなる直接的、間接的、偶発的、典型的、補償的、懲罰的、特殊な或いは結果的な損害、費用、経費、法的費用、或いは損失に対しても（逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含みそれに限定されず）、たとえ損害の可能性について事前に通告を受けていようと、責任を負いません。

格付けやリサーチ、バリュエーションなどのクレジット関連及びその他の分析は通常、スタンダード・アンド・プアーズ・フィナンシャル・サービシーズLLCやキャピタルIQインク（それらに限定されず）などのS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの関連会社が提供します。そうした分析や内容の記述は、表明された日付時点における意見の記述であり、事実を記述しているものではありません。いかなる意見、分析及び格付確認決定も、いかなる証券を購入、保有、または売却するか、或いは投資決定を行うことの推奨ではなく、いかなる証券の適合性を示すものではありません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、いかなる様式または形式であれ公表後に内容を更新する義務を負いません。投資やその他のビジネス上の意思決定を行う際に、内容に頼るべきではなく、内容はユーザーやその経営者、従業員、アドバイザー、及び（または）顧客などのスキルや判断、経験の代替にはなりません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCは、受託者または投資アドバイザーとして行動することはありません。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは信頼できると考える情報源から情報を入手しますが、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、入手する情報の監査を行わず、デューデリジェンスまたは独立した検証の義務を負うこともありません。

格付け機関が、ある管轄区においてある特定の規制目的のために別の管轄区で発行された格付けを承認することを規制当局が許す限りは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスはいつでもその裁量で、そうした承認を割当て、取り下げ、或いは停止する権利を留保します。S&Pレーティングズ・サービスを含むS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、承認の割当て、取り下げ、または停止に起因するいかなる義務も、またそのために被ったと主張されるいかなる損害の賠償責任も拒否します。

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの関連会社は、格付け及び特定のクレジットに関連する分析に対して、通常は発行体または証券の引受会社または債務者から報酬その他の経済的便益を受ける場合があります。係るS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの関連会社は、その意見と分析を公表する権利を留保します。S&Pレーティングズ・サービスから公開される格付けや分析は、そのウェブサイトwww.standardandpoors.com（無料）、www.ratingsdirect.com及びwww.globalcreditportal.com（有料）から入手可能であり、S&Pレーティングズ・サービスの出版物や第三者再配布業者などを通じたその他の手段でも配布される場合があります。弊社の格付け利用料に関する詳しい情報は、www.standardandpoors.com/usratingsfeesから入手できます。

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、各事業部の活動の独立性と客観性を維持するために、それぞれの活動を他から隔離しています。その結果、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの一部の事業部は、他の事業部では入手できない情報を保有する可能性があります。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、各分析プロセスの中で受け取った非公開情報の機密を守る方針及び手順を確立しています。

さらに、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、広範なサービスを、証券の発行体、投資顧問会社、証券会社、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲介業者など多くの組織に提供しています。したがって、これらの組織から報酬その他の経済的便益を受ける可能性があります。これらの組織には、証券やサービスを推奨し、格付け評価し、モデルポートフォリオに組入れ、評価するか別の対応を行う組織が含まれます。

グローバル業種分類基準（GICS®）は、スタンダード・アンド・プアーズ及びMSCIによって開発され、両社の独占的所有物であり登録商標です。MSCI、スタンダード・アンド・プアーズ及びGICS業種分類の編纂、計算、作成に関わるその他の当事者のいずれも、係るデータの保証や表現（またはその使用により得られた結果）に関していかなる表明や示唆も行っておらず、そうしたすべての当事者は明示的に、特定の目的に照らした係るデータの独自性、正確性、完全性、販売可能性、適合性に関するいかなる保証も拒否します。前述の内容に制限を加えることなく、いかなる場合もMSCI、スタンダード・アンド・プアーズ及びその関連会社及びGICS業種分類の作成または編纂に関わるサードパーティは、いかなる直接的、間接的、特殊的、懲罰的、結果的、その他の損害（逸失利益を含む）について、例えば損害の可能性について事前に通告を受けていようとも、責任を有していません。

このレポートは、英文原本から参照用の目的でS&Pダウ・ジョーンズ・インデックス（SPDJ）が作成したものです。SPDJは、翻訳が正確かつ完全であるよう努めましたが、その正確性ないし完全性につきこれを保証し表明するものではありません。英文原本についてはこちらをご参照ください。https://www.spglobal.com/spdji/en/documents/performance-reports/sp-global-equity-indices-monthly-update.pdf?force_download=true